

2022 年度関西学連臨時総会

日時：2022 年 6 月 9 日、6 月 10 日

場所：zoom

文責：近藤

出席者(敬称略)：徳力、菅、近藤、林、高野、池田、張、吉岡、永田

議題1 松尾選手のセレクションの免除を認めるかどうかについて

【概要】

神戸大学の松尾選手が世界大会の補欠代表として選ばれた。関西学連には、世界大会の代表選手はセレクションを免除できるという規定がある。ただし、この規定は補欠代表選手に適用されるか明示されてはいない。従って、松尾選手を免除するかどうかが争点である。

【議事録】

徳力： 関西学連幹事長の視点から意見を言わせてもらおうと、松尾選手は日本代表選手と共に海外に行き、スケジュールを共にして行動しているはずだ。それ故、代表選手と相違ないと見なして、規約に則り免除でいいと考える。

徳力： 立命館 OLC としては、スプリングセレクション（以下スプスレ）を立命館の選手が突破することは難しいので、免除してもいいと考える。

永田： 京女はスプスレの免除を認めるという意見であった。

張： 京大は中村部長からは普通に認めてもいいという話であった。

徳力： 話をまとめると、京京立は免除を認める意見だ。阪神奈の意見はどうだろうか。

高野： 個人の意見として、自分は松尾選手と争っていて、大会によっては自分の方が結果を残せていた。補欠となった成績はすごいが、免除についてはそれと別で考えてもいいと感じる。また、松尾選手がセレクションに参加して、選ばれるかも知れないが、必ずしもそうなると思ったわけではないので、やはり免除を認めない方がいいと思う。

菅： 個人的な意見となるが、関西学連の立場から言うと、松尾選手はスプリントなどで実績を残しているので、免除にしてもいいと思う。ただ、阪大の立場から言うと、阪大の女子も強いわけであり、明確に規定されているわけでもないのに免除してしまうのは、若干強引だと感じる。

徳力： 神大の意見はどうだろうか。

池田： 神大として意見をまとめたわけではないが、全員が認める意見に賛成だ。

吉岡： 質問だが、松尾さんはスプセレには参加できないのだろうか？

徳力： 多分、参加できるはずだ。(注：後に、海外に行っていて参加できないと判明)

高野： スプスレに出て実力で枠を勝ち取るか、推薦で枠を手に入れるかの違いである。

- 徳力：今のところ、阪大でのみ反対意見が出ている。それ故、阪大で強い反対があるかどうかが重要だ。
- 高野：阪大で意見をまとめても、私以外に強力な反対意見が出てくるとは思えない。松本選手は実力で枠を手に入れると思う。しかし、必ずしも選ばれるわけではないのならば、私は免除を認めることはできない。
- 池田：多数決で決めたくはないので、高野さんが世界大会の補欠選手に選ばれなかった理由を知りたい。
- 高野：世界大会のセレクションに参加していないからである。
- 徳力：両者の意見に妥当性がある。しかし、話し合いで決まりそうにはないので多数決を取る。

(多数決の結果)

賛成 5 人

反対 4 人

- 徳力：票がほぼ半分に割れてしまった。この結果ならば、再び審議するべきだ。
- 菅：取りあえず、今日参加できていない人の意見も聞くべきだろう。別日に全員で投票をするべきだ。
- 吉岡：投票が僅差になるならば、免除しない方がいいのではないか。免除になる選手というのは特別扱いされる選手であり、ずば抜けて強いなどの理由が必要だ。
- 徳力：そうかもしれない、再び話し合うべきだ。
- 徳力：賛成、反対についての明確な意見を教えて欲しい。
- 菅：反対の意見として、松尾選手は強いが、ずば抜けているのではないのだから、セレ免除の明確な規定がない状態で認めてしまうのはいかがだろうか。
- 高野：関西学連以外では補欠選手はどのような扱いだろうか。
- 徳力：関西学連にしかセレクションの免除の規約はない。
- 林：反対派の意見として、特例を認めてしまうと今回が前例となってしまう、少ない枠を常に取りられることは将来的に問題になるだろう。
- 徳力：確かに、将来的に枠が1枠のみになり、世界大会に参加する選手しか選ばれないようになるかもしれない。
- 高野：補欠選手がスプセレの枠を埋めるならば、世界大会のセレクションもスプリントのセレクションとなり、2回セレクションが行われてしまう。世界大会に出た人だけ、セレクションが2回あることになる。
- 徳力：この規定自体に改正が必要なのかもしれない。
- 徳力：今日は意見を保留にする。また、全体で話し合い、3分の2以上の票が入った方針を決定とする。各校渉外に持ち帰ってもらい、そこで強い反対意見が出なければ承

認する。また、次の学連会議で規約について話し合う。

【結論】

この件は保留とし、再び審議する。また、免除の規約についても見直す必要がある。

議題2 UNIVASの使い方について

【議事録】

徳力： 各校渉外の方は、新入生を各校のグループに入れて欲しい。徐々にUNIVASがオリエンテーリングの情報発信ツールになっていくだろう。

高野： 大会の体調管理で使われるので、UNIVASの卒業生を削除しない方がいい。

徳力： 他にも、各校渉外は共有したいことをメールなどで転送して流す必要もある。

【結論】

1. 新入生を各校のUNIVASに参加させる。
2. 各校渉外はUNIVASに送られた重要なメールを転送などして皆に知らせる必要がある。

<追記>

6月10日の話し合いについて

議題1 松尾選手のセレクションの免除を認めるかどうかについて

【議事録】

徳力： 今日中に投票で可否を決める。

池田： 松尾選手本人から確認したところ、スプセレ当日は海外にいるため参加できないようだ。神大としての意見書を提出する。

(意見書の概要：詳しくは添付する資料を参照)

1. セレクションに参加不可
2. 世界大会の補欠という立場について
3. 規定外事項や「枠が狭まる」という意見について

林： 今、関西学連の規約を見直す必要があるという考えが共有されている。しかし、規約があやふやな間に、選手を免除するのだろうか？

徳力： スプスレまでの時間がないので、規約はあるものとして扱う。

丸田： 現時点で松尾選手と枠を争えるような選手は関西学連の何人いるのだろうか？その数が、選抜選手の枠の数よりも少ないならば、免除してもいいと私は考える。

徳力： 2,3人いる。

徳力： 再び、多数決を取る。

(多数決の結果)

賛成 10 人

反対 5 人

徳力： 賛成多数なので、可決とする。

丸田： 規約の見直しについて、来年からは補欠を認める方針なのか、規約自体をなくす方針なのか、教えて欲しい。

徳力： 個人の意見としては、なくす方針だ。

丸田： 私は議事録を読んだだけなので、補欠を認める方針だと解釈違いを起こしていた。規約を残すつもりで賛成に票を投じた。しかし、全体として規約をなくす方針ならば、反対に票を投じていただろう。同じように解釈違いをしていた人もいないか？

徳力： 私としては、全体として規約をなくすべきとは認識していない。規約があることは前提であるため、今回の免除は規約の特例的に認められたとだけ考えている。議論の時間が短かったのもあるが、時間も足りないし、数日間である程度の議論も行われた。それ故、今回は免除で決定とする。

丸田： 分かりました。しかしながら、今回の判断をした以上、道徳的責任、公平性の観点から、規約改正についてはこれ以降の免除を認める方針でない不公平になる。松尾選手のみ特例を認めてしまうことになる。

徳力： 今回は規約に則り、特例を認める。そうして、この規約を改正し、補欠の免除を認める。こうすることにより、補欠選手を免除にすることが特例ではなくなる。その後、この規約自体に問題があり、規約自体をなくすかどうか議論するという流れならば、道義的責任、公平性のどちらも保証されるだろう。

徳力： 規約については、次回の総会で審議しよう。

【結論】

1. 賛成多数により、免除を認める。
2. 規約の改正については、後日の総会で話し合う。

議題 2 奥鹿野の地図リメイク費用の支出の承認

【議事録】

徳力： ミドルセレクションの実行委員会から連絡が来た。

(内容)

- ミドルセレクションの候補地の一つとして奥鹿野がある。この際に、外部委託でリメイ

クをしたいと考えている。

- リメイクをすることで、関西の高精度トレインを増やすことができ、大会や練習会の開催に役立てることができるだろう。
- 奥鹿野と場所が確定したわけではないが、今後の参考とするために支出が可能かを知りたい。

→後ほど支出の承認が得られた。